

令和5年度土木学会賞「技術開発賞」を受賞

大嘉産業は、公益社団法人が主催する令和5年度土木学会賞において、「水を使わず軽量で何度でも使えるコンクリート養生工法（アドバルーン工法）の開発」で、横浜国立大学および西松建設株式会社と共同で技術開発賞を受賞いたしました。

近年、トンネル内における覆工コンクリート片の剥落や漏水等の変状が報告される中、トンネル覆工コンクリートの品質向上を目的とするコンクリートの配合や施工に関する新しい方法がいろいろと提案され、実用化されてきています。

弊社では、横浜国立大学の細田教授および河端教授、そして西松建設株式会社にご指導とご協力をいただき、コンクリートの緻密性を向上させる新しい養生シテム「アドバルーン工法」の実用化に取り組んでまいりました。本工法は、小径バルーンに注気してアーチ形状に膨らまし、複数のバルーンをトンネル覆工コンクリートに密着させることで、コンクリート面と養生シート間に密閉された養生空間を構築するものです。

また本工法は、水を使わず軽量であるため移動や設置作業性に優れています。さらにSDGsの推進が期待されている中、簡易に転用することが可能なためゴミの排出を抑制することができます。このような高い技術力と環境配慮力が公益社団法人 土木学会により認められ技術開発賞を受賞するに至りました。

今後も弊社においては、環境との調和を目指した土木技術の発展を通じて社会に貢献してまいります。

※「アドバルーン工法」は、大嘉産業株式会社の登録商標です。

○本件に係る問い合わせ先

大嘉産業株式会社 産業資材事業部

開発部 榊尾・佐々木

電話：03-6716-0892

